

「か家に戻りたい」の思いに寄り添って

1班 砂ぼこりの中、ゴーグルやマスクが役に立った

主な作業内容
2階直前まで浸水した日本家屋の崩落した土壁や流入した土砂の撤去作業と壁骨組みや床・柱、押入れなどに付着凝固した泥の剥離作業。溜まった土のう袋の運び出し作業など。

60歳前のご夫婦で毎日作業されていたとのことでした。家中の泥の塊の剥がし作業は細かくて時間が必要な作業です。壁の隙間の土の除去は砂ぼこりが舞うため、用意していたゴーグルやマスクが役立ちました。屋内の作業だったので日差しはまぬがれまし

2班 未だに手つかず状態のお宅で家財道具を撤去

主な作業内容
まだボランティアが一度も入っていない日本家屋での家財等の撤去作業。台所の棚・冷蔵庫・洗濯機・食器等の撤去。和室の畳、タンス、衣類の撤去。床下収納に溜まった水のかき出しなど。

このお宅にお住まいだったのは倉敷市内に避難している年配女性でした。ご主人ががんを患い入院生活をされているとのこと、自宅の復旧には手が回らなかつたそうです。「農機具は何とか洗ったけど動かさず、この間に時間が過ぎて、こ

一部しかできなかったことが心残りです。全国的な支援も入り、少しずつでも復旧が進むことを願うとともに、被災者の方はこれからも長い間、自宅の復旧や生活の再建を考えていかなければならないので、がんばりすぎて疲れないか心配になりました。

3班 「明日から頑張れそう」の言葉に疲れも吹き飛ばす

主な作業内容
浸水被害を受けた1階の部屋と階段、窓ガラスの掃除。主に階段や棚、敷居などに散乱した土壁の泥払いと雑巾がけ。

当初の要望通り作業が完了し、ご主人(74歳)の「皆さんのおかげで助かりました。明日から頑張れそうです」との感謝の言葉は、疲れが吹っ飛ばすほど



室内に溜まった泥のかき出し

倉敷市職労の仲間からのメッセージ

被災自治体となった岡山県倉敷市職労の仲間からお礼のメッセージが届きました。

暑い中、ボランティアと慰問をしていただき、ありがとうございました。

この気候も手伝って、思うように片付けが出来ない方もたくさんおられるので、大変喜ばれたと思います。皆さんの心遣いに感謝します。また第2弾も検討されるとのこと、本当にありがたく思います。

まだまだ、暑い日が続きますので、皆さん体調に気をつけてください。今後ともよろしくお祈りします。

4班 大量の土砂を搬出、個人宅への支援の必要性実感

主な作業内容
2階建ての住宅の1階部分が水没し、全ての家財を廃棄したあと、床下に堆積した泥を排出し、臭いを除去するためにスコップで5センチほど地面を削り、土のう袋に詰めて物置場まで一輪車で運搬する作業。チームの5人は掘り返す作業1人、スコップで袋に詰める作業2人、運搬作業2人をローテーションで行いました。

臭いを残さないために地面を掘り返す作業は、床板がはがされていたため、無理な姿勢を強いられることがありませんでしたが、風が通らない屋内の暑さはきつかったです。被災者の方



泥だらけになった階段の掃除

5班 「先が見えない」被災者の言葉に心痛める

主な作業内容
2軒まわりました。1軒目は使えなくなった家財道具の搬出。2軒目は壁・床下に堆積した泥取り。

田んぼの中にある家で、まさか2mも水が押し寄せるとは思えない場所なのに、浸水したことに驚きました。家財もほとんど使えず、2階部分の被害はないものの、1ヶ月経ってもまだ住むことができない状態

一人一人の力が復興につながる実感

国際がんセンター 中川 舞さん

この短時間で何ができるのだろうかと思っていました。限られた時間でしたが、少しでも復興のためのお手伝いができ「ありがとう」とたくさん言葉をかけていただき、本当に



早(早洲)での2日間いただいた組合員。被災者の方への支援をよろしくお願いいたします。

0006688 員労働組合